

特 定 施 設 設 置 届 出 書

年 月 日

藤 沢 市 長

届出者 住 所
氏 名

(名称及び代表者氏名)

振動規制法第 6 条第 1 項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称				整理番号	
工場又は事業場の所在地				受理年月日	年 月 日
工場又は事業場の事業内容				施設番号	
常時使用する従業員数				審査結果	
振動の防止の方法	別紙のとおり。			備 考	
特 定 施 設 の 種 類	型 式	公称能力	数	使用開始時刻	使用終了時刻
				(時・分)	(時・分)

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第 1 に掲げる項番号及びイロハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
 - 2 振動の防止の方法の欄の記載は別紙によることとし、吊基礎、直接指示基盤(板バネ、コイルバネ等を使用するもの)空気バネの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
 - 3 印の欄には、記載しないこと。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ない場合を除き、日本工業規格 A 4 とすること。
 - 5 氏名(法人にあってはその代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

第3号様式(付表14)

振動の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等					
A 発生源での振動レベル		$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$
振動対策による減衰値	B 防振対策による減衰				
	C 距離減衰	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$
	D その他				
	E 減衰値合計 B + C + D				
敷地境界線での振動レベル予測 A - E					
防振対策の具体的内容					
施設の使用時間		時分～時分	時分～時分	時分～時分	時分～時分
当該事業所に適用される規制基準値		【午前8時から午後7時まで】 dB		【午後7時から午前8時まで】 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			